



9つの高さの違う床を持つ3階建ての家です。中心に周り階段がありそれに沿って部屋が螺旋状に配置されています。部屋には階段から直接アクセス出来るようになっていますが、同時に部屋同士もつながる動線があり、回遊性のある立体的な家です。あまり大きい家ではありませんが、行き止まりのないプランと立体的な構成によって部屋を広く感じることができます。同時に廊下といわれる部屋が無いので部屋の面積を最大限にすることができます。各部屋には大きく色が付けられた面（壁・家具）があります。特に一番上の、ルーフテラスの色の付いた壁から反射される光は階段を伝って光と色を下に届けてくれます。日常において色の付いた光は刻々と変化し様々な表情を見せてくれます。

